

天使病院を受診された患者のみな様へ

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

研究課題名	腎機能低下患者における高カロリー輸液キット製剤の適正利用に関する調査研究
研究の対象	2016年1月1日から12月31日までの期間で当院にてエルネオパ [®] 輸液を投与された98人のうち、eGFR45 mL/min/m ² 未満の患者23人
研究目的・方法	高カロリー輸液キット製剤は、「調製時における汚染防止」、「異物混入防止」、「調製時間の短縮」など多くの利点がある製剤である。しかし、処方内容が固定されているため、高齢者や腎不全・肝不全などの特殊病態下の患者に対して、一律に適用できない問題点がある。特に、腎機能の低下は、加齢や慢性腎臓病の罹患によって起こり、入院患者で遭遇することの多い病態である。腎機能低下患者における栄養管理の注意点として蛋白制限が挙げられるが、高カロリー輸液キット製剤を使用した際の蛋白投与量が適正かどうか検討した報告は少ない。そこで今回、腎機能低下患者への高カロリー輸液キット製剤の適正使用を目的として、当院で汎用されている高カロリー輸液キット製剤エルネオパ輸液を処方された患者の臨床データを解析して検証を行う。
研究期間	承認日から2020年4月30日
研究に用いる試料・情報の種類	エルネオパ輸液の体重当たり1日アミノ酸投与量、対象患者の患者背景と生理学的・血液学的検査値
外部への試料・情報の提供	対象者の個人情報を厳重に保護し、取り扱いには十分に留意する。カルテから得られた情報、研究データは、パスワード管理し、匿名化（個人を特定できる情報を消去し、解析用の番号を付ける）の状態での解析に用いる。また、匿名化に用いた対応表、研究データは、研究終了後、天使病院において施錠し10年間保存する。参加者の個人情報はこの研究のためにのみ使用する。
外部からの試料・情報の提供	なし
研究組織	研究責任者 薬剤科 伊藤 拓 共同研究者 薬剤科 神垣 輝美、相馬 まゆ子、佐々木 洋一 北海道科学大学 今田 愛也
問合せ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先	〒065-8611 札幌市東区北12条東3丁目1-1 社会医療法人 母恋 天使病院 薬剤部 TEL : 011-711-0101 FAX : 011-751-1708